

平成29年度

全国学力・学習状況調査の  
結果について



平成29年12月  
海老名市立大谷中学校

## 目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「数学に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「生徒質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5



## 資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

### 【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

### 【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

### 【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

### 【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人には、授業参観や運動会などの学校行事に来る

### 【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

### 【基本的な生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
  - ・ 中学校第3学年

## ◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

### 【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

### 【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成29年4月18日(火)

海老名市の結果は  
こちらから



## 国語に関する調査結果

### 国語 A

(主として「知識」に関する問題)

#### 《優れている所》

○古典を読む力に優れています。古文と現代語訳とを対応させて内容を捉える力が身についています。また古典の種類などの知識も定着しています。

○書く力に優れています。特に、目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめる力が身についています。

#### 《努力を要する所》

○文脈に即して漢字を正しく書くことに課題が見られます。特に、小学校五・六年に配当された漢字について、復習が必要です。

○読む力、特に問題4設問一で問われた文章の要旨を捉える力に課題が見られます。文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、整理する力を養う必要があります。

### 国語 B

(主として「活用」に関する問題)

#### 《優れている所》

○書く力に優れています。特に問題1設問三で問われた、比喩などの表現の仕方について捉え、自分の考えを書く力が優れています。

○問題3設問一で問われた、集めた材料を整理して文章を構成する力に優れています。目的、情報のまとめ、効果的な配置等、構成の特徴を捉える力に優れています。

#### 《努力を要する所》

○読む力、特に問題3設問二で問われた、複数の資料から目的に応じて必要な情報を読み取る力に課題が見られます。

○問題3設問三で問われた、必要な情報を集める力にも課題が見られました。どの情報を提示すれば意図が明確になるか、効果が期待できるかの見通しを持って情報を集める力を養う必要があります。

#### これまでの取組から

○相手に効果的に伝わるように書く力を高めるため、自己の表現を吟味したり、書き手の意図を説明したりする学習を工夫しました。

○書いた文章を推敲する際に、伝えたい事柄が具体的で明確になっているかに留意するよう指導を工夫しました。

#### 今後の具体的な取組について

○漢字を正しく書く力の充実のため、話すこと・聞くこと、書くことの学習においても、同音や形の似ている漢字への意識を高めます。

○説明的な文章を読む際、提示された話題とその説明を正確に理解し、必要な情報を選択・整理する学習を工夫していきます。

# 数学に関する調査結果

## 数 学 A

(主として「知識」に関する問題)

### 《優れている所》

○数と式の領域における、等式を目的に応じて変形する数学的技能に優れています。

○図形領域の、特に平面図形の技能や知識・理解に優れています。錯角の性質の理解や、問題8で問われた、命題の仮定と結論を区別し、与えられた命題の仮定を読み取る技能に優れています。

### 《努力を要する所》

○資料の活用、特に問題14(2)で問われた、度数分布表について、指定された階級の相対度数を求める力に課題が見られます。

○図形領域のうち、空間図形には課題が見られます。空間における直線と平面の関係についての理解や立方体の面上の線分の長さを読み取る技能には努力が必要です。

## 数 学 B

(主として「活用」に関する問題)

### 《優れている所》

○数と式の領域で、問題場面における考察の対象を明確に捉える数学的技能に優れています。

○図形領域の平面図形において、問題4(1)で問われた、角の大きさが等しいことを合同を利用して証明するなど、筋道を立てて考え、証明する思考力・判断力に優れています。

### 《努力を要する所》

○資料の活用、特に問題5(2)で問われた、与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈する思考力・判断力に課題が見られます。

○問題1(3)で問われた、図形の移動に着目して観察し、対称性を的確に捉える思考力・判断力に課題が見られます。

### これまでの取組から

○事柄や数量の関係を捉え、文字式に表す練習を工夫しました。

○目的に応じて資料を整理し、傾向を読み取り、解決の構想を立てる活動を工夫しました。

### 今後の具体的な取組について

○資料の活用については引き続き学習を工夫し、特に相対度数は意味と必要性を実感する場面を設け、理解を深めます。

○空間図形については、見取図だけでなく、身近な立体を見たり、実際に触れたり、模型を製作したりしながら、様々な方向や視点から観察する場面を設定するなど、空間における直線や平面の位置関係の理解が深まるよう学習を工夫していきます。

## 生徒質問紙の結果より

※ 数値に付けた( )内は全国平均との差  
※「肯定的な回答」は「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」の合計

### 学習について

#### 《よかった所》

○計画性、予習・復習の習慣が身につけている割合が高いです。特に予習については肯定的回答が全国平均を11ポイント上回っています。

○総合的な学習の時間に対する意欲が高いです。課題を設定し、自ら考え、話し合い、主体的に取り組む力を伸ばしています。

#### 《課題と思われる所》

○文章を書く力に課題が見られます。原稿用紙2、3枚の感想文や説明文を書くことが難しいとの回答が46.3%(+10.7)ありました。

○文章で解答する課題に努力が必要です。最後まで努力したという回答が64.2%(-8.1)に留まり、諦めてしまった30.5%(+6.9)、解答しなかった3.7%(+0.4)と、書く意欲に課題が見られました。

### 生活について

#### 《よかった所》

○友達との関係は概ね良好といえます。学校で友達に会うのが楽しいかの問いに95.8%(+1.2)が肯定的な回答をしています。

○思いやりの心が養われています。人を助けようとする態度、いじめをなくそうとする心とも肯定的な回答が全国平均を上回っています。

#### 《課題と思われる所》

○生活習慣に課題が見られます。朝食、就寝・起床のいずれも、肯定的な回答が全国平均を下回っています。特に起床に関しては意識を高める必要があります。

○平日における携帯電話やスマートフォン等の使用時間に注意や改善が必要と思われます。1日2時間以上との回答が41.1%(+8.9)ありました。

### これまでの取組から

○学習面においても生活面においても、基盤は人間関係作りという考えに基づき、校内研究の重点として取組を工夫してきました。

○学校生活全体を通して、話し合い活動の機会を増やすとともに、質の向上を図ろうと工夫してきました。

### 今後の具体的な取組について

○人間関係作りに重点を置き、学校生活全体を通してその向上に取組むとともに、構成的グループエンカウンターをはじめとする意図的・積極的なねらいをもった活動を定期的実施していきます。

○文章を書く機会を、学習場面に限らず、学校生活全体を通して増やし、書くことへ抵抗感を減らし、意欲と自信を高めていきます。

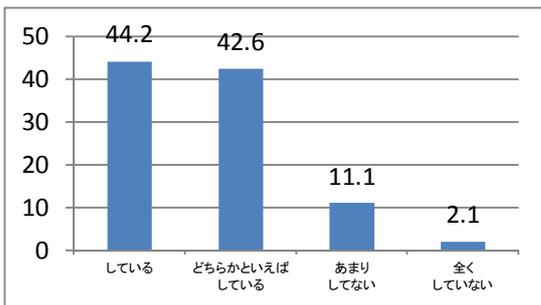
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

## 1 規則正しい生活習慣をさらに整えましょう。

朝食、就寝・起床といった生活のリズムを整えることは、学習成果の基盤となります。

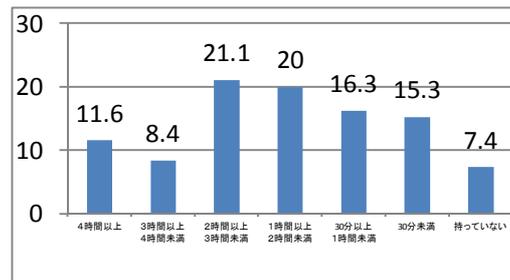
毎日同じくらいの時間に起きますか。



## 2 スマートフォン等を使う時間に注意しましょう。

使う時間にめやすを持たせましょう。併せて、人との直接的なかかわりを大切にしましょう。

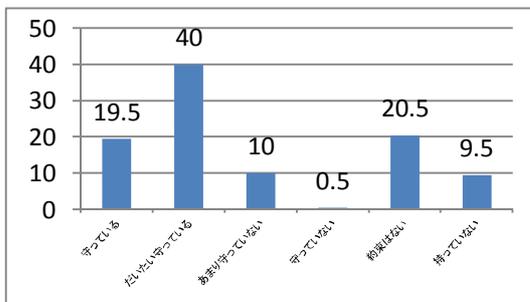
平日は1日どれくらいの時間、スマホ等でメールやインターネットをしますか。



## 3 スマホ等の約束を大切にしましょう。

約束について折々に親子で確認しましょう。

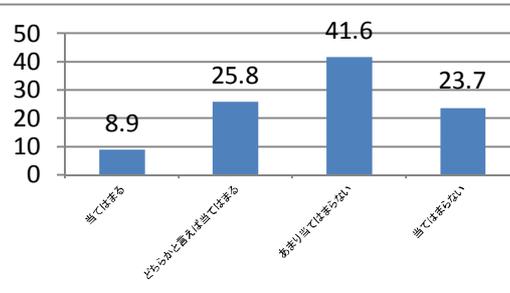
スマホ等の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。



## 4 地域や社会について親子で話し合いましょう。

地域や社会の課題に関心を高めましょう。

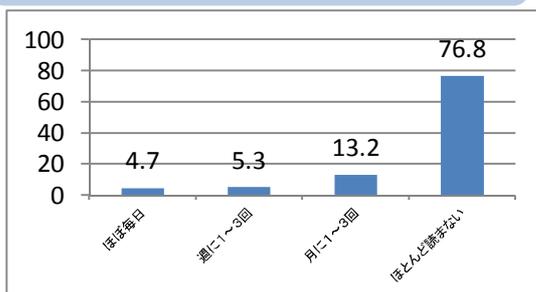
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。



## 5 新聞を読む価値について見直してみましょう。

テレビやインターネットのニュースのほかに、紙面で読む有効性もさまざまあると思います。

新聞を読んでいますか。



## 6 将来の夢についてご家族で話し合いましょう。

「夢＝職業」とらわれず、「どんな人になりたい」から話題を広げられるとよいと思います。

将来の夢や希望を持っていますか。

